

福岡ひびき経営大学

地元中小企業の発展と利益向上、ならびに地元経済の活性化に少しでもお役に立ち、応援したいとの思いで昭和60年10月に発足しました。

当金庫とのお取引の有無にかかわらず、地域の活性化を担うすべての企業経営者、後継者、従業員およびその関係の方々を対象としており、令和2年度は統一テーマを「地域企業×SDGs×デザイン経営」とし、4回の講義を行いました。

また、令和2年度の講義につきましては受講申込者様限定のWEBによる配信も実施いたしました。



福岡ひびき経営大学 第36期講座

開催日時・場所	講座	講師
第1回講義 令和2年9月4日 午後1時30分より 九州国際大学 KIUホール	講演テーマ 「企業がSDGsに取り組む意義と地域金融機関の役割」	SDGパートナーズ株式会社 代表取締役CEO 田瀬 和夫氏
第2回講義 令和2年10月14日 午後1時30分より 九州国際大学 KIUホール	講演テーマ 「地域×技術×デザイン～小さな企業が生き残る～」	有限会社メントカフェデザイン 代表取締役 金谷 勉氏
第3回講義 令和2年11月5日 午後1時30分より 九州国際大学 KIUホール	講演テーマ 「循環するものづくりとは～消費から考えるSDGsと未来～」	日本環境設計株式会社 取締役会長 岩元 美智彦氏
第4回講義 令和3年2月12日 午後1時30分より 九州国際大学 KIUホール	講演テーマ 「障害者就労支援の現場事例からみる共存共生社会」	株式会社カムラック 代表取締役 賀村 研氏

福岡ひびき経営者賞

この表彰制度は、金庫創立70周年事業の一環として創設された「はっしん経営者賞」が源流となっており、「福岡ひびき経営者賞」として今回で27回目の開催となりました。

地元中小企業の発展・育成に寄与することを目的とし、「技術革新・商品開発部門」「販売・サービス部門」「人事・労務管理部門」「地域社会貢献部門」「ソーシャルビジネス部門」の5つの部門において優れた成果を上げた中小企業の経営者を顕彰しています。



第27回 福岡ひびき経営者賞 受賞者

●技術革新・商品開発部門

●株式会社 ウエルクリエイト 代表取締役 中原 信子氏
(若松支店)

●販売・サービス部門

●有限会社 タイシン九州 代表取締役 月見 政仁氏
(曾根支店)

●人事・労務管理部門

●株式会社 木下設備 代表取締役 木下 浩二氏
(穴生支店)

●株式会社 プレス 代表取締役 松本 喜久氏
(行橋支店)

●地域社会貢献部門

該当なし

●ソーシャルビジネス部門

該当なし

ひびしんニューリーダー会

新しい時代の経営環境に適応できる経営者に必要な知識の体得と会員相互の啓発、事業の発展を通じて地域社会に貢献することを目的としています。当金庫とお取引のある若手経営者で満47歳までの方を対象としています。令和3年4月末現在の会員数は76名です。



ひびしん俳句大賞

平成21年7月に創設された「ひびしん俳句大賞」は、現在13回目を数えます。毎回、地域にお住まいの皆さまからたくさんの投句をいただいております。小学校・中学校の生徒の皆さまからの応募も多数寄せられ、今回は4,316句の応募をいただきました。



ひびしん俳句大賞受賞（一般の部 大賞）
コロナ禍に故郷も子も遠き夏
八幡西区 佐藤英輔様

ひびしんイングスクラブ

各種セミナー、ボランティア活動等を通じて会員同士の交流を図り、地域の活性化に貢献することを目的としています。満18歳以上35歳以下で当金庫にお取引を有する企業の従業員の方または当金庫にお取引のある方が対象です。毎年参加している一般社団法人北九州青年経営者会議様主催「ヤングサンタ」では、サンタクロースや見習いサンタのヤングサンタに扮して、児童福祉施設、小児病棟、一般家庭を訪問しプレゼントを渡す事業に参加しています。コロナ禍の影響により一部オンラインで参加しました。



地域行事への参加

北九州を中心とした当金庫の営業エリアには、古くから続く地域行事がたくさんあります。昨年はコロナ禍の影響により、多くの地域行事が延期や中止を余儀なくされましたが、今後も当金庫は地域社会の一員として、地域のお祭りやイベント等の諸行事に積極的に参加していきます。

ひびしんカップ(学童少年野球大会)

当金庫は「ひびしんカップ(学童少年野球大会)」に特別協賛しております。コロナ禍の影響により、様々な大会が中止となりましたが、北九州市軟式野球連盟が作成するガイドラインに従い適切な感染防止対策を実施する事により開催、各チームが熱戦を繰り広げました。



第2回ひびしんカップ優勝



第3回ひびしんカップ優勝

「新型コロナウイルス感染症」への対応について

■ 感染症拡大防止について

● 「新しい生活様式」の啓蒙および感染予防に向けての取組みの実施

「新しい生活様式」のポスターを掲示し、冷感マスクの配布を行いました。

● 各店舗における感染症拡大防止対策

当金庫では、飛沫感染予防のために各店舗で店頭や机間の仕切板の設置、役職員のマスク着用・手洗い・手指消毒、毎朝の検温義務等、新型コロナウイルス感染症拡大予防に取り組んでおります。

● 渉外系の除菌スプレーの携行

お取引先の要請にお応えする為、当金庫では感染予防対策を徹底した上で、お取引先への訪問も実施しております。特にお客様と面談機会が多くなる渉外担当者には携帯用除菌スプレーを携行し感染予防に努めております。



冷感マスク



店頭の消毒液設置



ロビーでのソーシャルディスタンスを保つためのプレート設置

■ 新型コロナウイルス支援の取組みについて

● 迅速な資金繰り支援

お取引先への迅速な資金繰り支援のため、当金庫独自の特別融資を設けるなど迅速な資金供給に努めています。経営や生活に支障をきたしているお客様に幅広く対応する為、当金庫本支店に専用の相談窓口を設置しております。

● 「福岡県新型コロナウイルス医療従事者応援金」への寄附実施

当金庫は感染症と日々戦う医療従事者の皆様を応援するため、役職員から寄付を募り「福岡県新型コロナウイルス医療従事者応援金」へ寄附いたしました。(寄附金額: 641,000円)

● 株式会社ライトアップとの助成金自動診断システムOEMの取り扱い開始

株式会社ライトアップとの助成金自動診断システムOEM供給に関する業務提携を行いました。株式会社ライトアップが提供する助成金自動診断システム「Jシステム」を活用する事で、お取引先が申請可能な助成金を短時間のヒアリングで抽出する事が可能となりました。本システムの積極的な利用により、お取引先の課題解決に関する支援を行いました。



NETWORK

店舗のご案内



店舗のご案内

令和3年7月1日現在

■北九州市八幡東区

本店営業部 093-661-2411
荒生田支店 093-651-5633
枝光支店 093-671-5635
★中央町支店 093-671-2231

■北九州市八幡西区

黒崎支店 093-621-2566
折尾支店 093-691-1831
香月支店 093-617-0631
穴生支店 093-631-4535
相生支店 093-631-1061
三ヶ森支店 093-611-0266
町上津役支店 093-611-4455
本城支店 093-603-3161
★則松支店 093-691-1851
木屋瀬支店 093-617-0311

■北九州市小倉北区

小倉支店 093-531-4586
到津支店 093-591-0321
三萩野支店 093-922-1111
城野支店 093-931-7535

■北九州市小倉南区

北方支店 093-921-0581
曾根支店 093-471-7600

■北九州市戸畑区

浅生支店 093-882-5221
★中原支店 093-882-5271
★天籟寺支店 093-882-5261

■北九州市若松区

若松支店 093-761-2031
二島支店 093-791-0331
★小石支店 093-771-3911
東二島支店 093-791-2351
高須支店 093-741-0121

■北九州市門司区

門司港支店 093-321-0881
新門司支店 093-481-1425
大里支店 093-381-0761
★原町支店 093-381-2334

■中間市

中間支店 093-244-1311

■遠賀郡

おんが支店 093-293-1313

■直方市

直方支店 0949-22-1650
★頓野支店 0949-26-0311

■宮若市

★若宮支店 0949-52-0038

■鞍手郡

鞍手町支店 0949-42-0013

■行橋市

行橋支店 0930-23-0870

■京都郡

苅田支店 093-436-0735

■豊前市

豊前支店 0979-82-1188

■築上郡

築上町支店 0930-56-0055

■福岡市

福岡支店 092-283-7016
千早支店 092-674-0310

※代理店信用金庫代理業者

ひびしんビジネス・サービス株式会社

★大蔵代理店 093-651-7731

★印の店舗は、「昼休み」時間を導入しております。
(11時30分～12時30分)

店舗外ATM・CDのご案内

令和3年7月1日現在

■北九州市八幡東区

イオンモール八幡東
リバーサイド荒生田
前田出張所

■北九州市八幡西区

サンリブ黒崎店
ゆめマート東折尾店
サンリブ折尾店
サンリブ三ヶ森店
MrMax本城店
ゆめマート永犬丸店
サンリブ木屋瀬店

■北九州市小倉北区

JR小倉駅
北九州市役所

■北九州市小倉南区

サンリブシティ小倉
北九州空港
サニーサイドモール小倉

■北九州市戸畑区

イオン戸畑店

■北九州市若松区

マルショク深町店
イオン若松店
青葉台出張所
サンリブ高須店
若松区役所
ベイサイドプラザ若松

■中間市

ショッピングモール中間
中間市役所

■遠賀郡

ゆめタウン遠賀

■直方市

イオンモール直方
直方市役所

■行橋市

行橋市役所

■京都郡

苅田町役場
平成筑豊鉄道犀川駅前

■豊前市

三毛門出張所
フレスポくぼてんタウン
豊前市役所

■大分県中津市

イオン三光ショッピングセンター

■その他

高速道路古賀SA(上り)
セブン銀行(セブンイレブン)
イオン銀行
ローソン銀行(ローソン)

第78期 事業の概況

1. 預金・貸出金の状況

預金

令和2年度は、夏期キャンペーンとして「花あふれる定期預金」を、また冬期キャンペーンでは、懸賞金付定期預金「マネーヒット」を販売し、夏期は72億円、冬期は71億円を獲得致しました。結果、定期預金残高は前期比38億円の増加となりました。また、要求性預金残高は、新型コロナウイルス感染症対策資金や各種助成金等の歩留まり分の影響もあり、前期比561億円増加しました。

この結果、期末の預金残高は、前期比612億円増加し、7,560億円となりました。

貸出金

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策融資を取引先3,818先に対し696億円実行しました。貸出先数では前期比691先増加し、証書貸付の残高が前期比518億円と大幅に増加しました。事業性融資は新規の取引先の拡大などにより388億円増加。また、消費者ローンで8億円、住宅ローンで2億円増加しましたが、カードローンが9億円減少したため、個人向け融資につきましては前期比1億円の増加に留まりました。

その結果、期末の貸出金残高は、前期比389億円増加し3,916億円となりました。

2. 収益の状況

貸出金利息については、貸出金利回が低下したものの貸出金期中平残が増加したことにより、前期と比較して171百万円増加しました。有価証券利息配当金は前期比81百万円の増加となりました。尚、有価証券利息配当金の中には投資信託解約益1,248百万円が含まれております。また、買入金銭債権利息が前期と比べ6百万円、預け金利息は20百万円減少し、資金運用収益は前期比223百万円の増加となりました。役務取引等収益は金融商品の堅調な販売もあり前期比6百万円の増加、その他業務収益は、国債等債券売却益の減少等により前期比1,484百万円減少して714百万円、臨時収益は株式等売却益が3,111百万円増加するなど、前期比4,037百万円の増加となりました。

以上の結果、経常収益については前期と比べ2,783百万円増加し、18,400百万円となりました。

費用面においては、預金利回の低下に伴い、資金調達費用が前期比20百万円の減少となりました。役務取引等費用は支払為替手数料等の減少等により、前期比11百万円減少しました。その他業務費用は国債等債券売却損や償還損等の増加により前期比3,284百万円増加しております。人件費は42百万円の増加、物件費は新型コロナウイルス感染症の影響等で109百万円減少し、経費については前期と比べ58百万円減少しました。また、株式等売却損が前期比2,190百万円減少、貸倒引当金繰入額と貸出金償却の合計が前期比529百万円の増加となったことなどから、経常費用は前期比1,219百万円増加の15,852百万円となりました。

以上の結果、経常利益は前期比1,564百万円増加の2,548百万円、当期純利益は前期比567百万円増加の1,341百万円となりました。

最近5年間の主要な経営指標の推移

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度
経常収益(千円)	12,759,575	13,082,972	14,196,339	15,617,409	18,400,735
経常利益(千円)	1,710,470	1,682,601	1,412,812	984,325	2,548,449
業務純益(千円)	1,971,601	1,223,488	2,027,304	4,632,728	△ 535,897
コア業務純益(千円)	1,283,822	1,198,051	1,557,415	2,933,208	3,268,036
当期純利益(千円)	1,753,031	1,604,896	949,814	773,915	1,341,704
出資総額(百万円)	3,479	3,460	3,446	3,452	3,466
普通出資金(百万円)	2,240	2,221	2,207	2,213	2,226
優先出資金(百万円)	—	—	—	—	—
その他の出資金(百万円)	1,239	1,239	1,239	1,239	1,239
出資総口数(千口)	4,480	4,442	4,414	4,426	4,453
純資産額(百万円)	50,121	51,641	49,773	42,492	55,630
総資産額(百万円)	707,005	726,724	734,594	742,503	875,705
預金積金残高(百万円)	651,139	669,424	679,355	694,838	756,089
貸出金残高(百万円)	332,871	337,940	343,758	352,734	391,658
有価証券残高(百万円)	264,096	275,777	275,226	233,056	256,569
単体自己資本比率(%)	12.83	11.86	11.26	11.30	11.58
出資に対する配当金(円)	15	15	15	15	15
(出資1口当たり)					
役員数(人)	15	14	14	15	15
うち常勤役員数(人)	11	10	10	11	11
職員数(人)	587	597	595	593	586
会員数(人)	72,903	72,955	73,080	72,668	73,150

(注)「その他の出資金」1,239百万円は、平成15年10月20日に合併した旧直方信用金庫が発行していた優先出資を、平成18年8月31日協同組織金融機関の優先出資に関する法律第15条第1項1号の規定に基づき消却したことにより、優先出資金及び資本準備金からその他の出資金に振り替えたものです。

財務諸表

貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	令和2年3月31日	令和3年3月31日
(資産の部)		
現金	6,809	6,921
預 け 金	116,410	187,541
買 入 金 銭 債 権	18,775	18,987
金 銭 の 信 託	1,730	3,283
有 価 証 券	233,056	256,569
貸 出 金	352,734	391,658
外 国 為 替	95	84
そ の 他 資 産	4,781	4,422
有 形 固 定 資 産	8,591	8,161
無 形 固 定 資 産	177	263
繰 延 税 金 資 産	1,159	—
債 務 保 証 見 返	1,028	1,387
貸 倒 引 当 金	△ 2,848	△ 3,574
(うち個別貸倒引当金)	(△ 2,018)	(△ 2,020)
資 産 の 部 合 計	742,503	875,705

科 目	令和2年3月31日	令和3年3月31日
(負債の部)		
預 金 積 金	694,838	756,089
借 用 金	—	57,000
そ の 他 負 債	1,826	2,070
賞 与 引 当 金	288	290
役 員 賞 与 引 当 金	31	38
退 職 給 付 引 当 金	1,168	1,120
役 員 退 職 慰 労 引 当 金	169	206
睡 眠 預 金 払 戻 損 失 引 当 金	119	39
偶 発 損 失 引 当 金	229	141
繰 延 税 金 負 債	—	1,382
再 評 価 に 係 る 繰 延 税 金 負 債	310	308
債 務 保 証	1,028	1,387
負 債 の 部 合 計	700,010	820,075
(純資産の部)		
出 資 金	3,452	3,466
利 益 剰 余 金	43,676	44,959
処 分 未 済 持 分	△ 27	△ 14
会 員 勘 定 合 計	47,101	48,410
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	△ 5,422	6,412
土 地 再 評 価 差 額 金	813	806
評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	△ 4,609	7,219
純 資 産 の 部 合 計	42,492	55,630
負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	742,503	875,705

損益計算書

(単位:千円)

科 目	平成31年 4月1日から 令和2年 3月31日まで	令和2年 4月1日から 令和3年 3月31日まで
経 常 収 益	15,617,409	18,400,735
資 金 運 用 収 益	10,733,931	10,957,737
役 務 取 引 等 収 益	1,192,681	1,198,895
そ の 他 業 務 収 益	2,198,729	714,142
そ の 他 経 常 収 益	1,492,067	5,529,960
経 常 費 用	14,633,084	15,852,286
資 金 調 達 費 用	143,681	123,629
役 務 取 引 等 費 用	1,091,879	1,080,789
そ の 他 業 務 費 用	498,986	3,783,588
経 常 費 用	7,824,921	7,766,750
そ の 他 経 常 費 用	5,073,615	3,097,527
経 常 利 益	984,325	2,548,449
特 別 利 益	—	6,026
特 別 損 失	65,954	573,803
税 引 前 当 期 純 利 益	918,371	1,980,673
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	28,754	621,721
法 人 税 等 調 整 額	115,700	17,246
法 人 税 等 合 計	144,455	638,968
当 期 純 利 益	773,915	1,341,704
繰 越 金 (当 期 首 残 高)	4,662,148	4,665,005
土 地 再 評 価 差 額 金 取 崩 額	—	6,646
当 期 未 処 分 剰 余 金	5,436,064	6,013,356

剰余金処分計算書

(単位:千円)

科 目	平成31年 4月1日から 令和2年 3月31日まで	令和2年 4月1日から 令和3年 3月31日まで
当 期 未 処 分 剰 余 金	5,436,064	6,013,356
積 立 金 取 崩 額	—	—
利 益 準 備 金 取 崩 額	—	—
剰 余 金 処 分 額	771,058	1,579,276
利 益 準 備 金	5,708	13,685
普 通 出 資 に 対 す る 配 当 金 (年3%)	65,350	65,590
特 別 積 立 金	700,000	1,500,000
繰 越 金 (当 期 未 残 高)	4,665,005	4,434,080

単体自己資本比率

(単位:百万円)

項 目	令和1年度	令和2年度
普通出資又は非累積永久優先出資に係る会員勘定の額	47,036	48,345
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	1,058	1,695
土地再評価額と再評価直前の帳簿価額の45%に相当する額のうち、経過措置によりコア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	202	150
コア資本に係る基礎項目の額(イ)	48,297	50,190
無形固定資産	177	263
コア資本に係る調整項目の額(ロ)	177	263
自己資本の額((イ)-(ロ))/(ハ)	48,119	49,927
信用リスク・アセットの合計額	407,244	411,115
オペレーション・リスク相当額の合計額を8%で除して得た額	18,476	19,702
リスク・アセット等の合計額(ニ)	425,721	430,818
単体自己資本比率((ハ)/(ニ))	11.30%	11.58%

(注) 自己資本比率の算出方法を定めた「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫及び信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第21号)」に基づき算出しております。なお、当金庫は国内基準により自己資本比率を算出しております。



あなたと共に、ハーモニー・バンク
福岡ひびき信用金庫

〒805-8520 北九州市八幡東区尾倉2-8-1
TEL 093-661-2311 (代表)

■ ホームページアドレス
<http://www.fukuokahibiki.co.jp/>

■ テレホンバンキングサービス
フリーダイヤル 0120-842-506